

やまとし こみんか まな 大和市の古民家について学ぼう

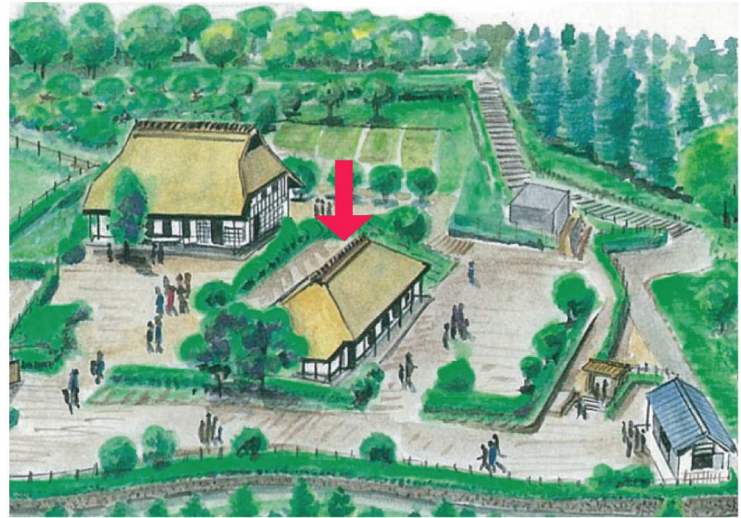
きゅう おがわ け 旧小川家

そうけん えどじだいちゅうきごろ
創建：江戸時代中期頃

きゅうしよざいち やまとしかみわだ
旧所在地：大和市上和田

くでんしゅうらく
(久田集落)

やまとしな い げんそん さいに いえ
大和市内で現存する最古の家



もんだい 1

いえ やね なに

家の屋根は何でできているかな？



もんだい 2

いえ かべ なに

家の壁は何でできているかな？

もんだい 3

いえ なか つち ふぶん

家の中の土の部分は

なに

何をするとところかな？



もんだい 4

ばしょ なに

この場所は何をするとところかな？



やまとし こみんか まな 大和市の古民家について学ぼう 答え

もんだい 1

家の屋根は何でできているかな？

家の屋根にはススキの茎くきを使っています。屋根の材料にするススキの茎を「茅かや」と呼び、茅で作った屋根を「茅葺き屋根かやぶ」と呼びます。

旧小川家の天井を見上げてみると、どのように屋根を作っているのかが見て取れます。



旧小川家の内側からみた屋根

もんだい 2

家の壁は何でできているかな？

家の壁は土でできています。このような壁を「土壁つちかべ」と呼びます。ただし、普通の土ではなく、竹の骨組みに土と藁わらなどを混ぜたものを塗り、その上に別の土を塗って、雨などの水に強い壁にします。

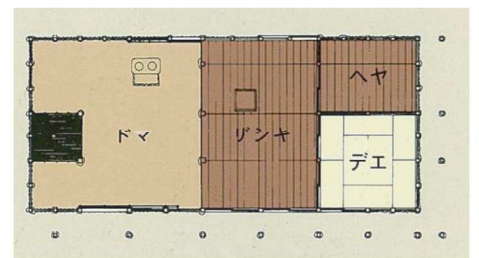


土壁の構造

もんだい 3

家の中の土の部分は何をすところかな？

ここは土間どまと呼びます。土間は、雨の日や夜などの畑に出られない時に仕事の続きをする作業場になります。そのため汚れてもよいように、地面が土でできています。またカマドがあることから分かるように、料理をする場所でもありました。



旧小川家の間取り

もんだい 4

この場所は何をすところかな？

広い板の間まで、囲炉裏いろりがあるこの場所はザシキと呼びます。

食事をする時には一家全員がザシキに集まり、ザシキの囲炉裏を囲むようにして座りました。座る席は、家の当主・主婦・客とうしゅ しゅふ きやくと、それぞれ決まっていました。また、家の当主夫婦はヘヤで寝て、それ以外の家族はザシキで寝ていました。